

# 代表質問

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して6人の議員が質問し、活発な議論を展開しました。

各会派の質問の配分時間は120分です。その概要は、次のとおりです。

\*代表質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。

## 水曜日



高田 健司

### 平成29年度予算編成に懸ける市長の思いは

**問** 公約に掲げられた5つの挑戦を実現するため、初めての予算編成に懸ける市長の思いは。

**答** 昨年、市制施行100周年を迎えた本市は、今、次なる新たな

なステージへと歩みだすスタートラインに立っている。平成29年度予算は、まさに、福山市の未来に向けた新たな一歩を記すものである。地方には、若者の流出に伴う人口減少など、これまで経験のない時代の波が押し寄せている。このような時代にあって「成長のない都市に未来はない」と考えており、子どもから高齢者まで、誰もが魅力を感じ、将来にわたって成長する都市の実現に向け、積極果敢に挑戦していく、そうした思いを込めて、平成29年度予算を「未来への挑戦予算」と名付けた。

### 福山版ネウボラの取り組みは

**問** 平成29年度から実施される福山版ネウボラの取り組みの具体は。

**答** 妊娠期から学童期までの切れ目のない相談支援をワンストップで行うため、身近な相談窓口を市内12カ所に開設し、専門性を持った相談員を配置する。福山版ネウボラの特徴は、全国初の「ネ

### 福山北産業団地Ⅱ期工事の計画は

**問** 福山北産業団地Ⅱ期工事について、見直し修正した計画の具体は。

**答** 現在、平成21年に策定した基本計画の修正を行ったところで

### 平成29年度の子育て支援策は

**問** ①保育料の減免は。②子どもの医療費助成制度の拡充は。

**答** ①国は平成28年度に引き続き、所得制限を設ける中、幼児教育の段階的無償化を推進する方針

ウボラ相談員養成プログラム」であり、このプログラムでは、独自のカリキュラムに加え、ステップアップをめざす養成プログラムも市立大学と連携して構築し、レベルの高い相談員の養成をめざす。また、新たな事業として、産後ケア事業、産前産後サポート事業産後ヘルパー派遣事業、9カ月の乳児健康相談における動機付けのためのプレゼント配布や就労支援事業も実施する。

ある。この結果、実地調査や実測等を伴わない概算で、事業区域面積は約50ヘクタール、分譲面積は約24ヘクタールと、見直し前とはほぼ同規模の計画となった。今後、本修正案を基に公共投資関連事業との仕分けや実施手法等について必要な検討を加え、事業実施の判断をしていく。

である。本市でも、国の制度改正に応じた保護者負担の軽減を図る。②国は未就学児までを対象とする医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担のペナルティーを平成30年度から廃止するとしている。本市は国の動向を踏まえ、平成29年度に行う子ども貧困実態調査の結果を分析する中で検討していく。

\*3月定例会の代表質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。